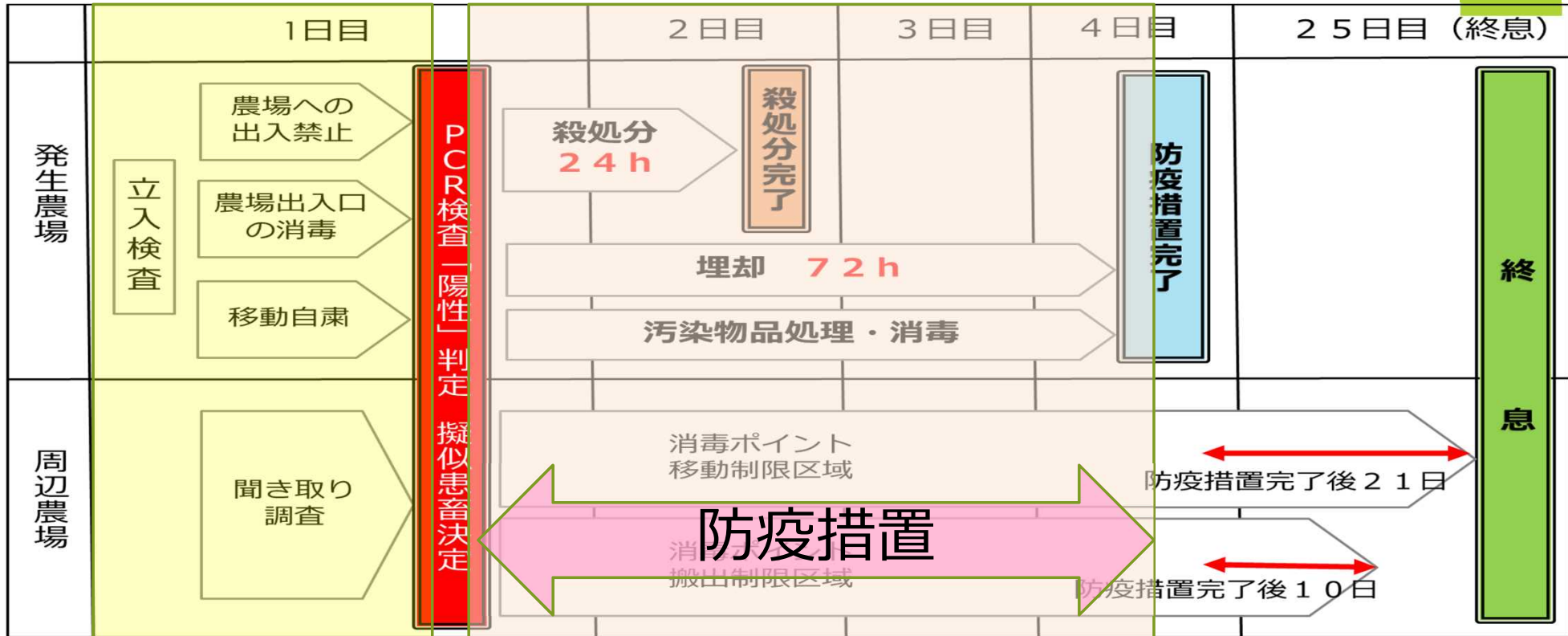


演習内容

- ①鳥インフルエンザについて
- ②鳥インフルエンザの防疫措置について
- ③県対策本部、地域対策本部の体制について
- ④通報から初動防疫開始までの机上演習

演習目的

22



▶ 農家からの通報から**防疫措置**開始までの防疫体制の強化

発生農場：A養鶏場（南部地域）

飼養羽数：成鶏120,000羽、幼鶏40,000羽
合計160,000羽

県内最大規模の採卵鶏の養鶏農場での発生を想定

農場からの通報

鶏の元気がない

チアノーゼ・沈鬱・産卵率低下

おとといから鶏の死亡が増えていて...

直近21日間の平均死亡羽数の2倍以上

1号鶏舎の入口に集中していて...

5羽以上がまとまって死亡・うずくまり



農場からの電話

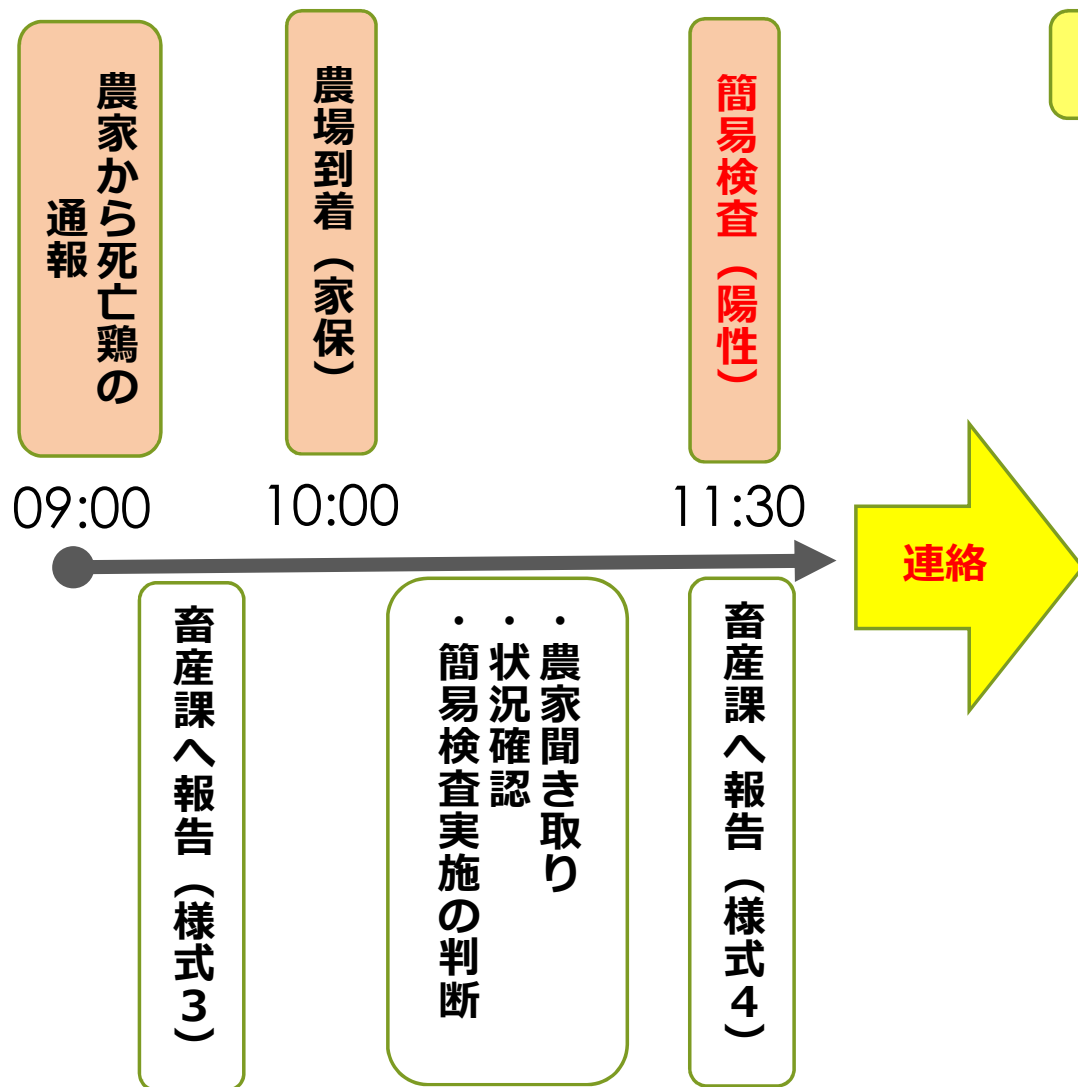
HPAIの可能性が否定できませんので
今から検査にうかがいます！

- ・鶏を移動させない
- ・関係者以外立入禁止
- ・卵、堆肥、機械など持ち出さない
- ・従業員が農場外に出るとき消毒徹底

家保からの指示

防疫作業タイムテーブル（簡易検査陽性まで）

25



連絡体制

【会議招集通報】

緊急対策会議：危機管理メンバー（中央家保）

連絡調整会議：各部局総括課長
（農業振興統括監が幹事長）

県対策本部会議：各部長から全庁
（知事が本部長）

現地対策本部：要領（統括監（中央家保））

【畜産課から連絡】

国、九州・山口各県（家畜防疫連携に基づく）、
農林水産部各課、県各部局の総括課、協定団体等

【畜産課から協力依頼文書】市町村

【中央家保から連絡】

中部・南部農業改良センター、中部・南部農林土木事務所、家畜衛生試験場、農業研究センター、南部林業事務所、病害虫防除技術センター、水産海洋技術センター、関係市町村

防疫作業タイムテーブル（殺処分開始まで）

26

簡易検査陽性

先遣隊・防疫計画・動員要請

仮設テント設営・資材搬入

消毒ポイント設営・資材搬入

防疫ステーション設営・資材搬入

県対策本部・
現地对策本部開催

PCR検査陽性
(家衛試)

殺処分1クール
開始

11:30 15:00 17:00 19:00 20:00 22:30 24:00

防疫ステーション・消毒ポイント場所決定

仮設テント設置開始

各所へ資材搬入

仮設テント・
消毒ポイント設置完了

防疫ステーション設置完了

防疫ステーション
運営開始

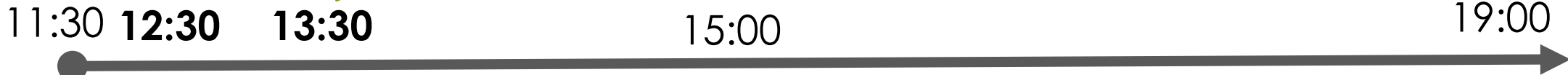
第1クール動員者集合

初動防疫作業役割分担

27

(先遣隊) 集合時間

(資材班) 集合時間



簡易検査陽性

現場調査

先遣隊 (防疫計画作成・埋却地調整)

中央家保、南部農林土木、発生市町村、建設業協会

農場消毒

埋却地整備

評価班：中央家保、養鶏農協、発生市町村

資材

資材搬入：中央家保、中部農林土木、発生市町村、農業研究センター、JA中南部畜産振興センター

設営

防疫ステーション設営：中家保、普及センター

仮設テント設営：中家保、病害虫防除センター、農林土木、市町村

消毒ポイント設営：中家保、水産海洋技術センター、市町村

現地調査（先遣隊・評価班）

- ▶ 簡易検査陽性確認後、防疫措置に先立ち、現地にて調査等をおこなう
- ▶ **先遣隊** 《中央家保、南部農林土木、建設業協会、市町村》
 - 防疫計画（殺処分計画、焼埋却計画）の作成
- ▶ **評価班** 《中央家保、養鶏農協、発生市町村》
 - 手当金算定に係る家畜・汚染物品（卵、飼料）の確認
- ▶ その他：周辺住民説明チラシ配布《家保、市町村》

先遣隊～現地での事前調査～（12：30家保集合）

メンバー：中央家保、南部農林土木、建設業協会、市町村

▶ 防疫計画の作成

- ・ 飼養羽数、鶏舎構造等から殺処分、運搬の計画（殺処分計画）
- ・ 埋却溝の掘削の可否や焼却等の計画（焼埋却計画）
- ・ おおまかなスケジュールの作成
- ・ 必要人員・資材（重機含む）の見積もり
→ 動員調整、資材調達に必要



農場概要

飼養羽数 16万羽

- ①成鶏1号舎 4万羽
- ②成鶏2号舎 2万羽
- ③成鶏3号舎 4万羽
- ④成鶏4号舎 2万羽
- ⑤育雛舎 4万羽

⑥集卵場所

⑦事務所

⑧～⑪堆肥舎

飼料タンク

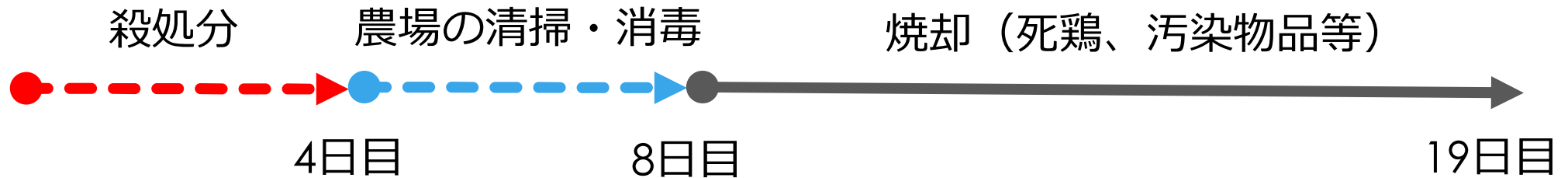
7t x 11本、4t x 4本



鶏舎内外での作業動線、作業に必要な重機等の見積もり

防疫計画

31



- ▶ 多段ケージであることから、2000羽/時間を想定
 - ・ 16万羽のため、殺処分4日、清掃・消毒4日→防疫措置には計8日間
- ▶ 埋却予定地が掘削不可のため、死鶏を含む汚染物品は焼却処理
- ▶ 死鶏・鶏卵はミッペール、鶏糞・飼料はフレコンに梱包
- ▶ 汚染物品量762トン/日を50 t /日焼却できると想定
→焼却完了は19日目
- ▶ 必要資材、必要人員についての計画



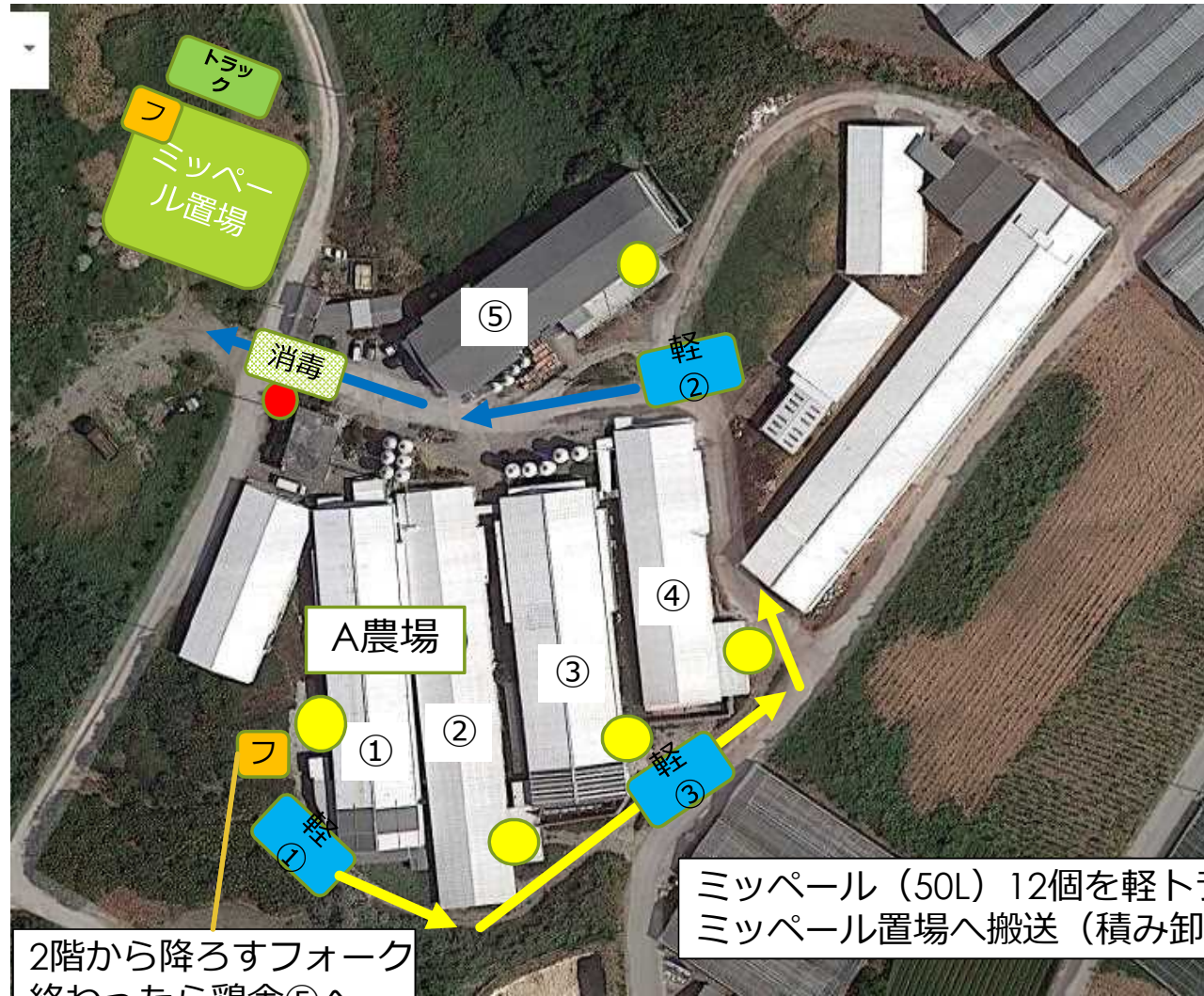
ミッペール



フレコン

防疫計画（汚染物品搬出）

32

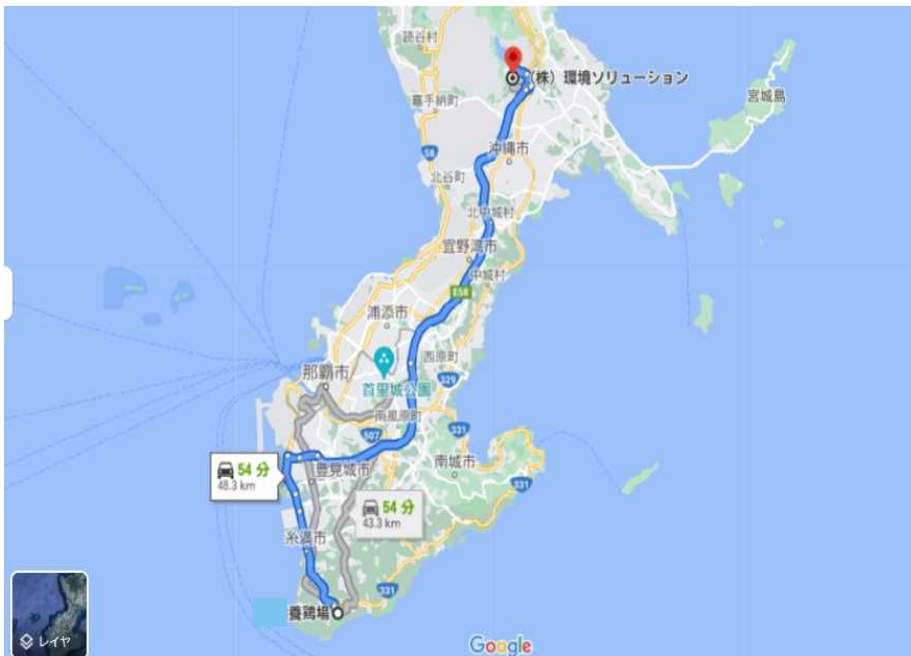


焼却場への運搬

33

▶ 焼却場での作業

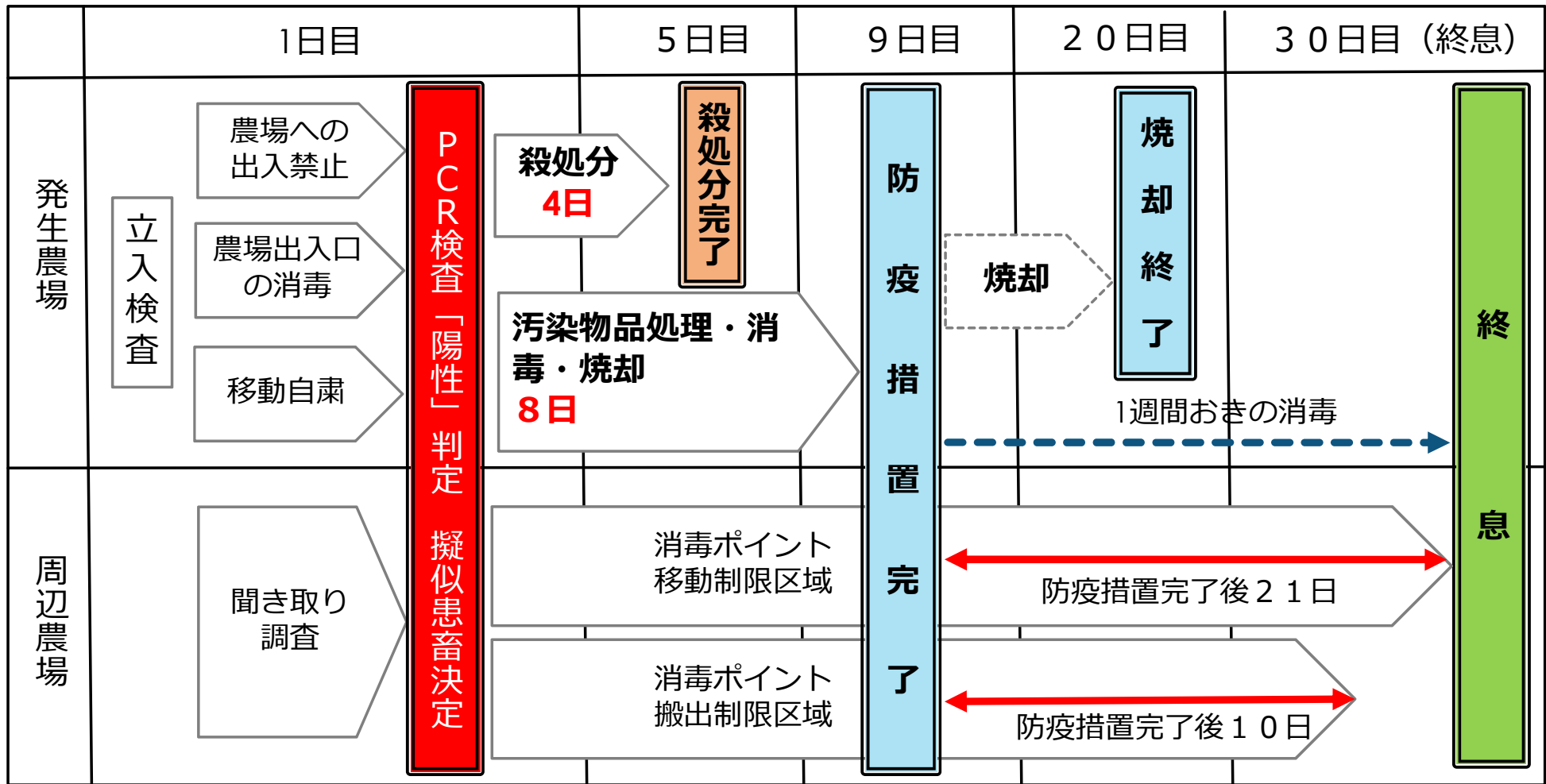
- ・ 出入り口で運搬車両の消毒
- ・ 積み下ろし補助など



※運搬ルートは事前に国と協議



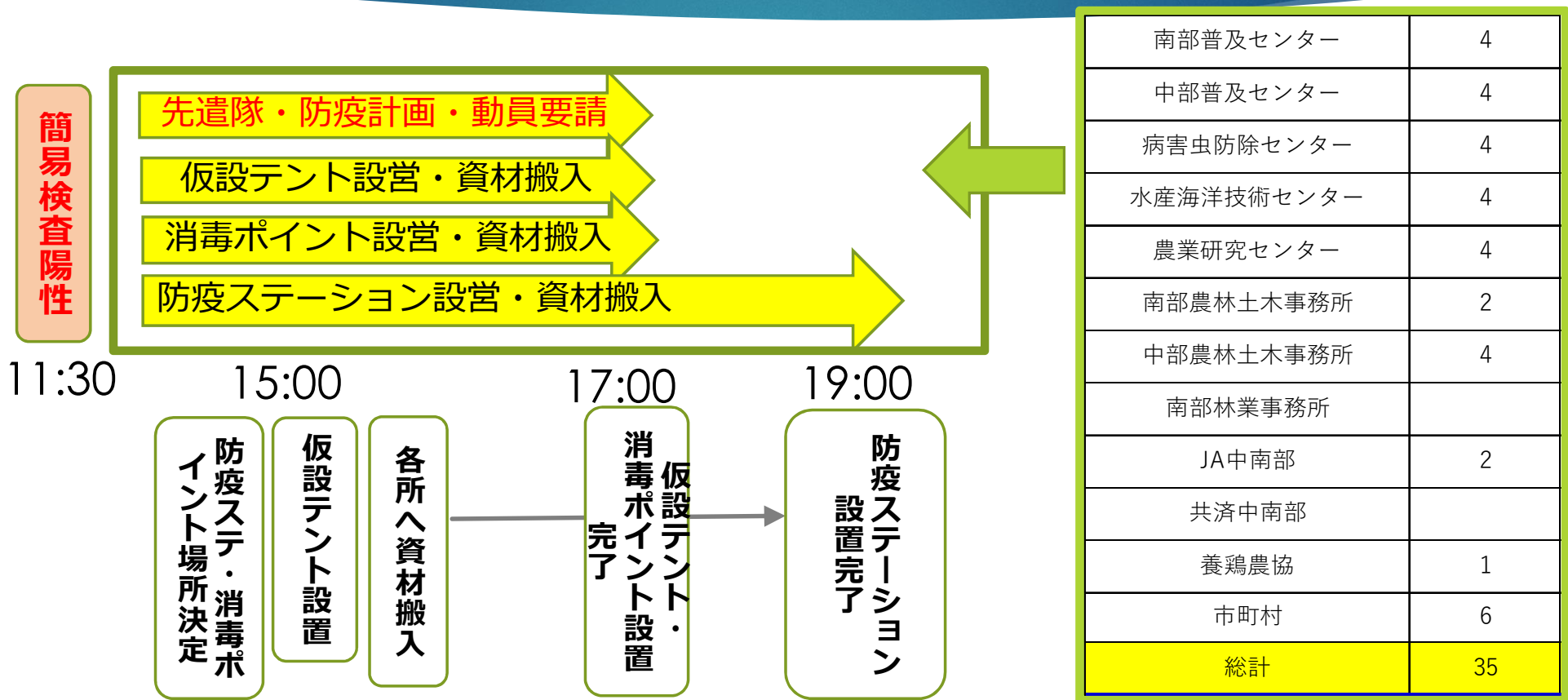
防疫措置スケジュール（A農場の場合）



動員調整

- 1) 簡易検査陽性後の動員
- 2) PCR検査陽性後の動員
 - ▶ 防疫計画に基づく動員人数決定
 - ▶ 動員要請（確定前および第1クール以降）
 - ▶ 割り振りグループ分け（獣医・テント・ST・焼却ほか）
 - ▶ 送迎バス手配等

動員（簡易検査陽性後）



防疫計画に基づく必要人員（第1クール以降）

37

	総動員数	家畜防疫員	現地対策本部 (県機関)	現地対策本部 (外部団体)	現地対策本部 (市町村)	県対策本部
第1クール	80	6	26	4	3	41
			殺処分、焼埋却、 防疫ST、仮設T	殺処分	消毒ポイント	殺処分
第2クール	90	7	19	4	9	48
			焼埋却、防疫ST、 仮設T	防疫ST	消毒ポイント	殺処分 (焼埋却、防疫ST)
第3クール	90	7	19	4	9	48
第4クール	90	7	19	4	9	48
1日あたり	350	27	83	20	30	185

第5クール以降は、第2クールの繰り返し（焼却完了まで）
焼却完了後は必要に応じて規模縮小

【参考】 現地対策本部からの動員（確定前～第4クールまで）

		クールごとの家保が確保する人数					主な配置先 (赤字：確保した内、殺処分配置する数)
		確定前	第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	
県機関	南部普及センター	4	3	3	3	3	防ST
	中部普及センター	4	2	2	2	2	防ST
	病虫害防除センター	4	2	1	1	1	仮設T、農場(1)
	水産海洋技術センター	4	2	2	2	1	仮設T、農場(1)
	農業研究センター	4	6	3	3	4	防ST、仮設T、農場(3:OP)
	南部農林土木事務所	2	3	2	2	2	防ST、仮設T、農場(1)、埋却
	中部農林土木事務所	4	4	3	3	3	農場(1)、埋却
	南部林業事務所		1				仮設T
関係団体	JA中南部	2	2	2	2	2	農場(2)、防ST
	共済中南部		2	2	2	2	農場(2)、防ST
	養鶏農協	1					先遣隊
市町村	市町村	1消毒ポイントあたり3名				消毒ポイント（人数は消毒P数に応じて変動）	
	総計	35	30	29	29	29	

(参考) 農場での防疫措置の流れ

40

① 殺処分 (炭酸ガス)



② ミツペール (鶏・卵) ・フレコン (鶏糞・飼料) に詰める



③ ミツペール消毒・積載
→ 焼却場へ



④ 農場清掃・消毒

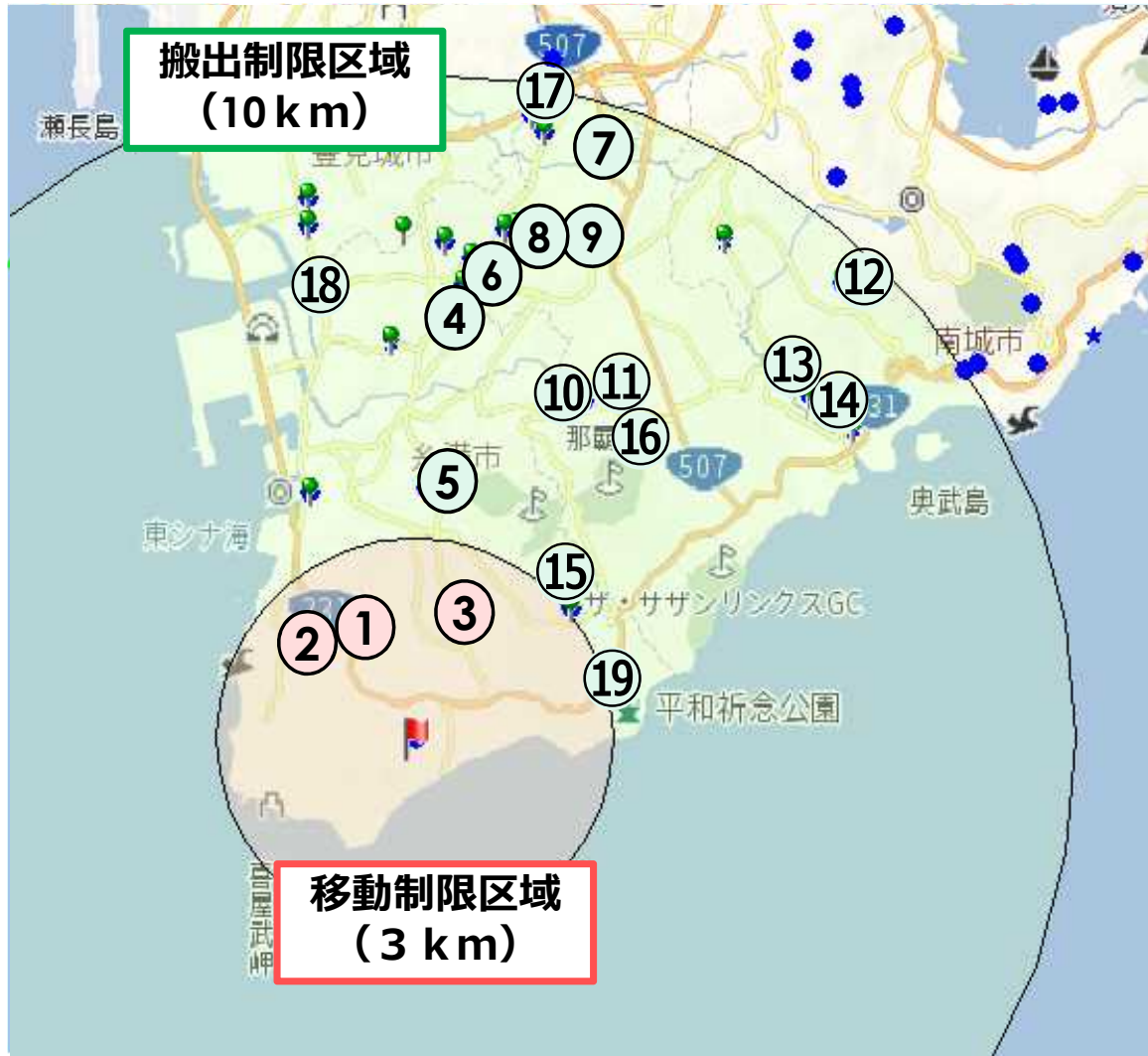


移動・搬出制限区域設定、消毒ポイント設定

- ▶ 移動制限・搬出制限設定（国、県）
- ▶ 消毒ポイント設定・調整（国、県、市町村）
- ▶ 告示（畜産課）
- ▶ 農家へ通知（中央家保）

移動制限・搬出制限設定

42



- ▶ 移動制限区域：農場等から制限対象物を移動することが出来ない。
- ▶ 搬出制限区域：制限区域から対象物を出ることが出来ない。

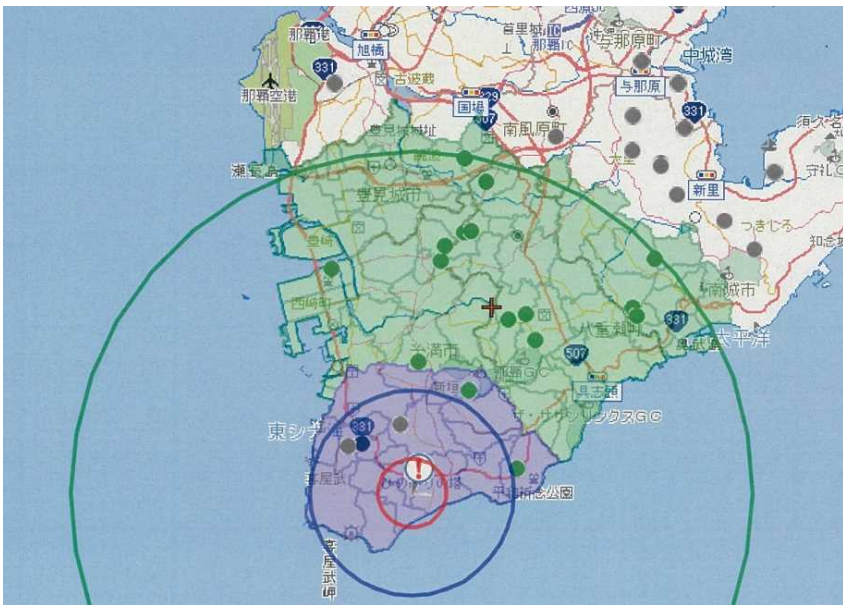
対象物：家きん、家きん卵、死体、排せつ物、敷料、飼料、家きん飼養器具

移動制限	①～③	3戸
搬出制限	④～⑱	16戸

合計19戸

消毒ポイント設営

43



設置場所	消毒ポイント数	開設時間
発生農場周辺	1箇所	24時間
移動制限区域境界 (3 km)	2箇所	午前6時30分から午後5時 予定
搬出制限区域 (10 km)	3箇所	午前6時30分から午後5時 予定

消毒ポイント設営

44

11:30

簡易検査陽性

場所調整
(家保、市町村)

13:30 (家保集合)

資材搬入・設営：中家保、水産海洋技術セ、市町村
運営：市町村、委託業者

17:00

消毒ポイント設置完了

設置

テント
机
椅子
トイレ



記録

消毒記録簿
作業日誌
消毒済証明書
筆記用具等

機材

動力噴霧器・燃料
500ℓタンク
発電機・延長コード
投光器
消毒液、ホース

案内板

「消毒ポイント」看板
誘導灯・ビブス
看板用重し

作業員

衣類(防護服、手袋、
マスク、ゴーグル)



消毒ポイントのレイアウト



仮設テント

設営：中家保、病害虫、農林土木、発生市町村

運営：中家保、中南部農林土木、水産海洋技術センターなど

農場近接に設置し、防疫作業前準備や休憩、作業時の入退場の際にウイルスの持ち出しを防止するための防護服着脱を行う。また、農場で必要な物資を管理する。

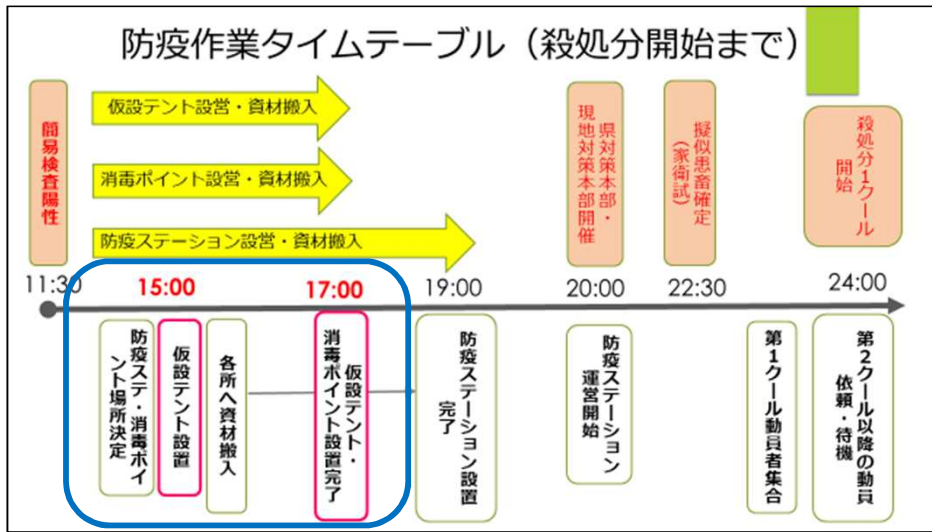
- ▶ 防疫作業前準備、防護服等着替え、休憩場所
- ▶ 防疫資材備蓄・管理



仮設テントの設置

47

【準備～設置完了までのスケジュール】



テント到着 (6張)

11:30

13:30

15:00

17:00

簡易検査陽性

中央家保集合

- ・リース車両受取
- ・防疫資材詰込 (動力噴霧器、消石灰、炭酸ガスボンベ、防護服等)

現場へ

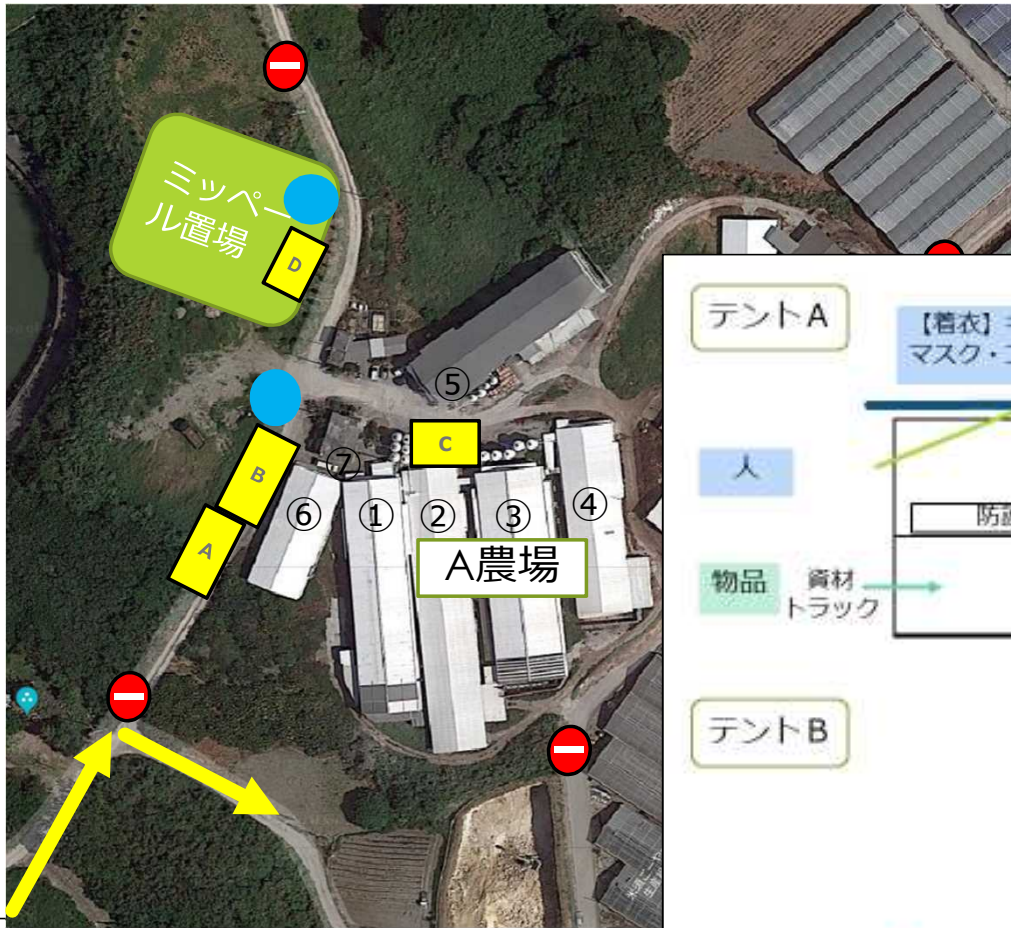
仮設テント設置

- (防護服着用)
- ・動力霧器設置
- ・炭酸ガスボンベ 荷下ろし
- ・消石灰散布

仮設テント設置完了

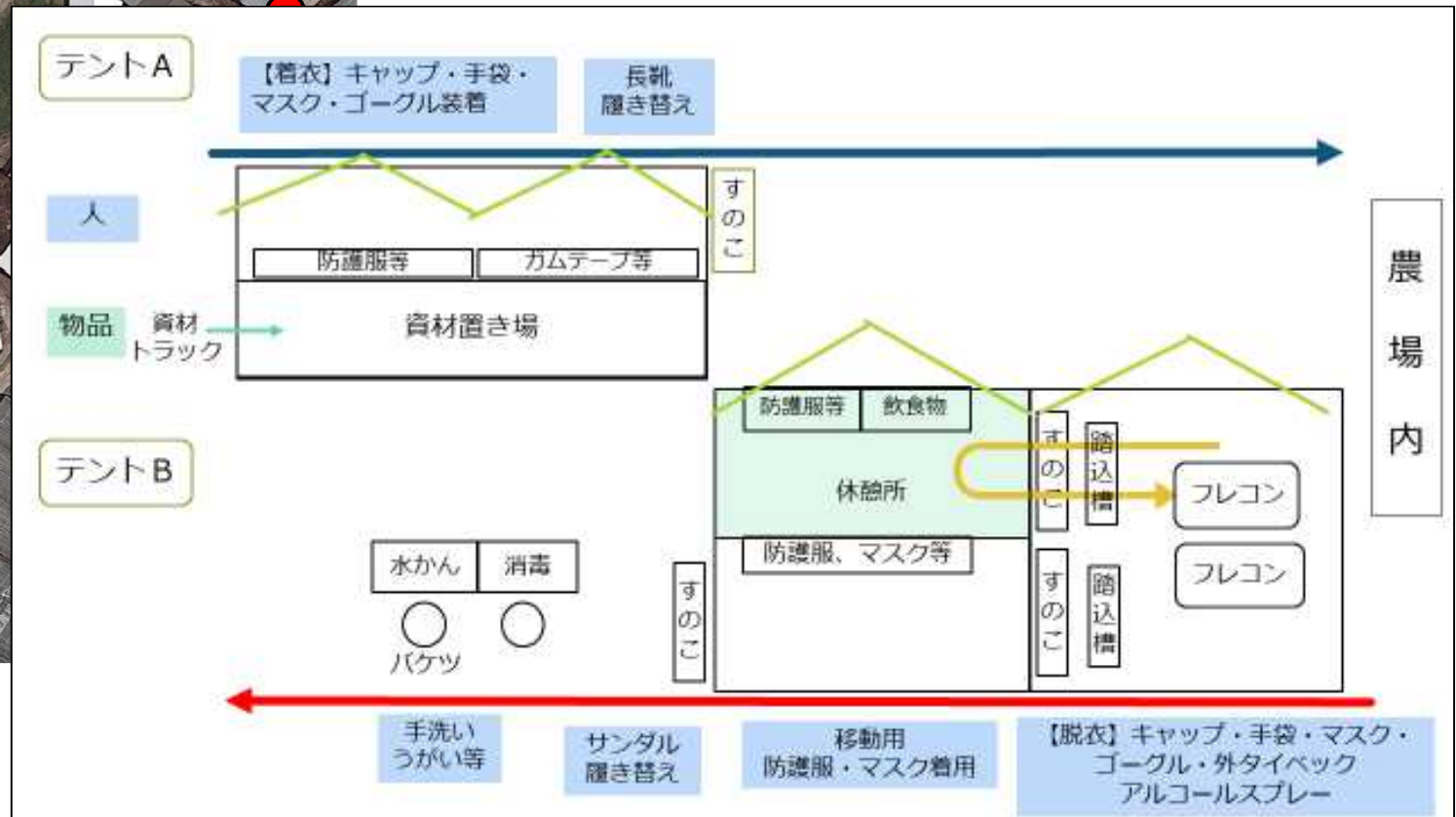
仮設テントの設置

【配置図】



人員バス、資材搬入

- テント (A・B仮設)
- (C・D休憩所)
- トイレ



防疫ステーション

設営・運営：中家保、中南部普及センター

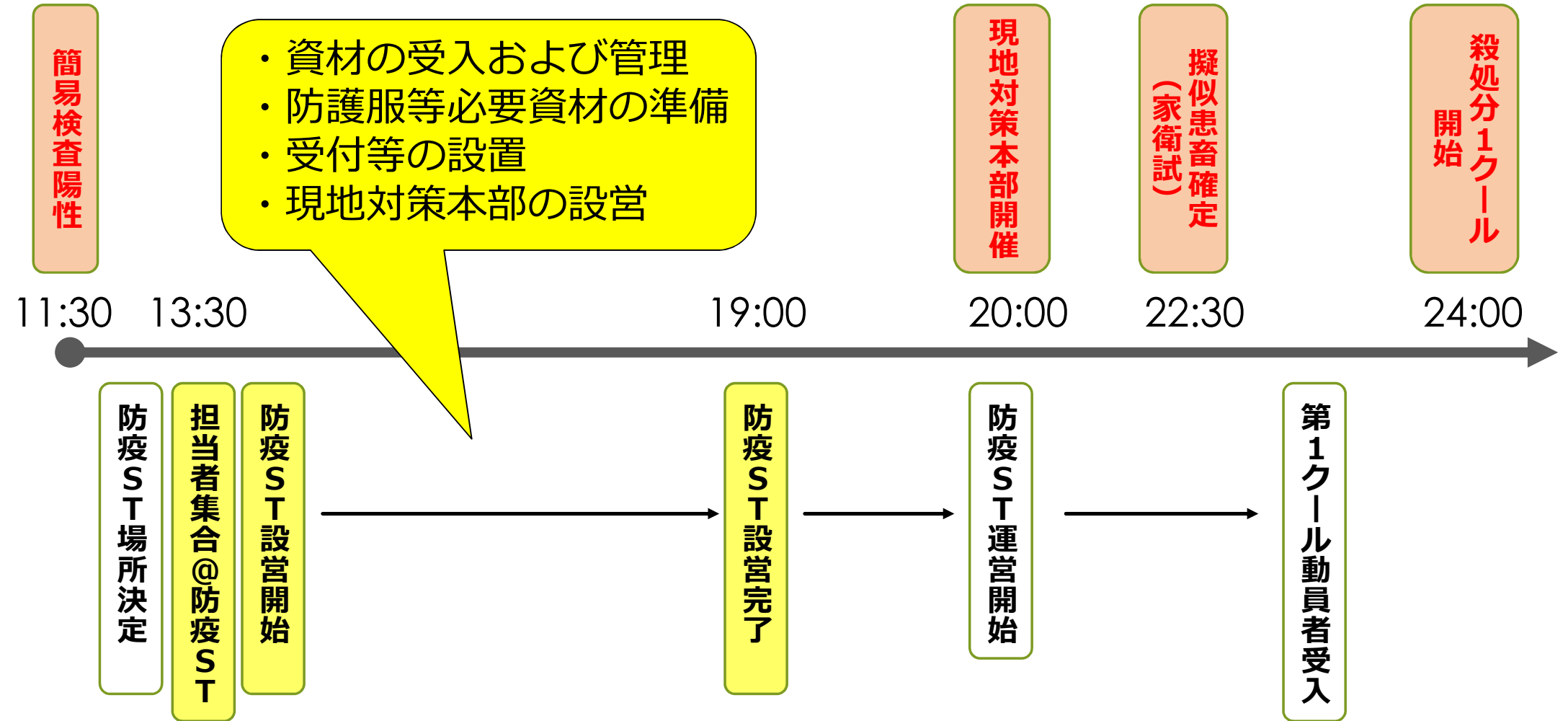
防疫作業者の集合・解散場所

防疫資材管理や各作業場所との情報の集約を行う

- ▶ 防疫資材備蓄・管理
- ▶ 作業者受け入れ・防護服等配布・健康管理
- ▶ 現地対策本部を設置し、県対策本部との連絡調整、防疫作業の総括

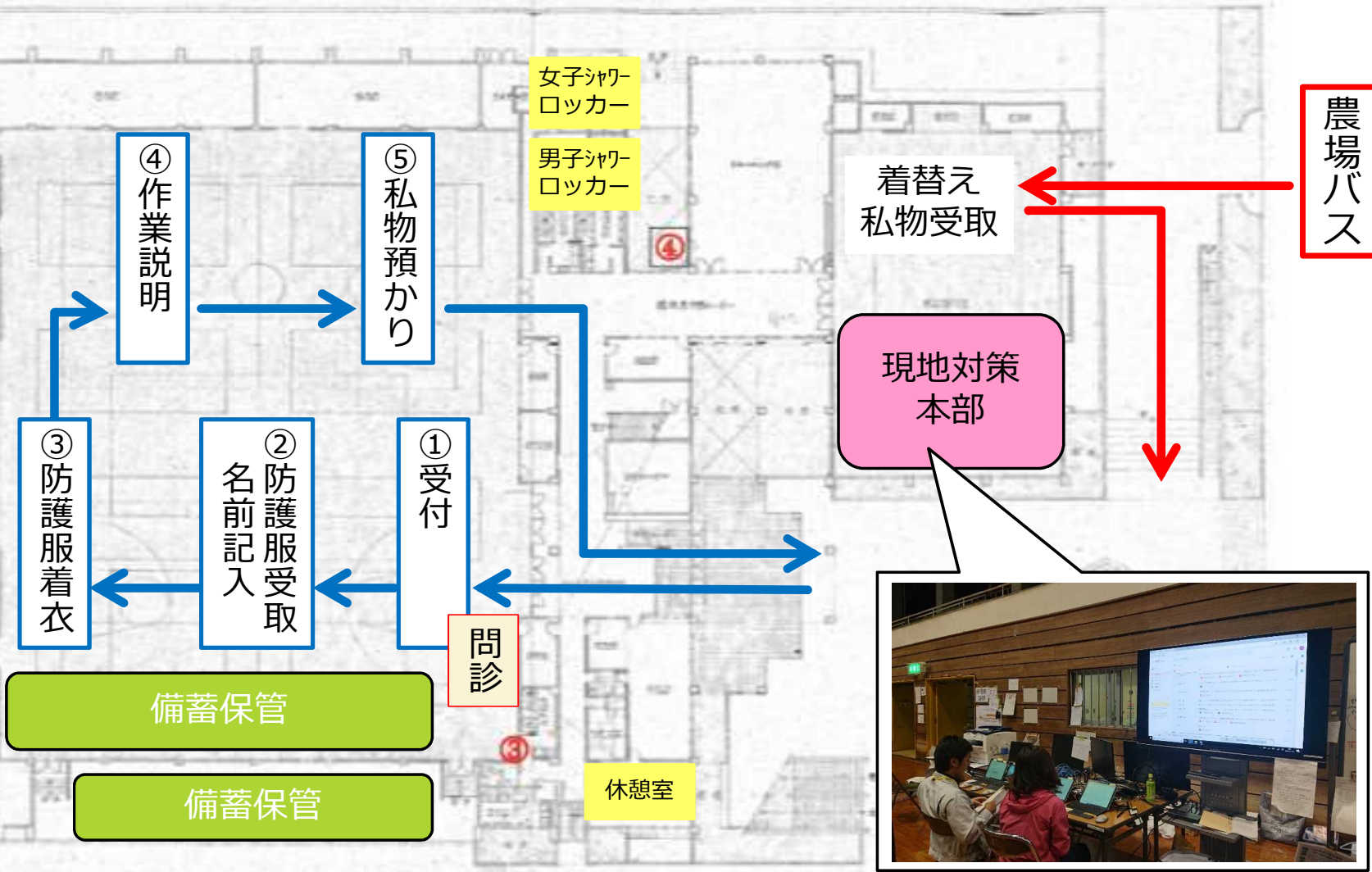
防疫ST作業タイムテーブル

50



防疫ステーションレイアウト

51



農場バス

着替え
私物受取

現地対策
本部



女子シャワー
ロッカー

男子シャワー
ロッカー

問診

休憩室

備蓄保管

備蓄保管

さいごに。総括連携（情報の共有）

※**総括**は班長級を配置、**リーダー**は家畜防疫員

